

中部1市4町とサントリーグループはペットボトルの水平リサイクルに関する協定を締結しました。

2024.3.8 BtoB協定式



テキスト表示

日本海新聞

3/9 (土)

鳥取県中部の1市4町などサントリーグループは、山陰で初めて家庭から排出されたペットボトルを新たなペットボトルに再生する水平リサイクルに関する協定を締結した。8日に北栄町田井の北条農村環境改善センターで締結式があり、関係者らは限りある資源を循環活用して持続可能な社会の実現を目指すことを確認した。

取り組みは4月1日から実施。家庭ごみとして出たペットボトルを自治体が分別・回収し、倉吉資源リサイクル事業協同組合に運搬する。同グループが指定する再資源化事業者によりペットボトルに再加工され、飲料製造に利用される。

締結式で、サントリーホールディングスサステナビリティ経営推進本部の西脇義記副本部長が「皆さんと

家庭排出ペットボトルで協定 水平リサイクル 県中部とサントリー



協定を結んだ関係者ら＝8日、北栄町田井の北条農村環境改善センター

の協力があってこそ資源をしっかりと循環できる。協定を機に、地域と一緒に持続可能な社会の実現に向かっていきたい」とあいさつ。広田一恭市長は「各団体や行政が連携し、この取り組みを推進していきたい」と述べた。

(伊拓離真奈)

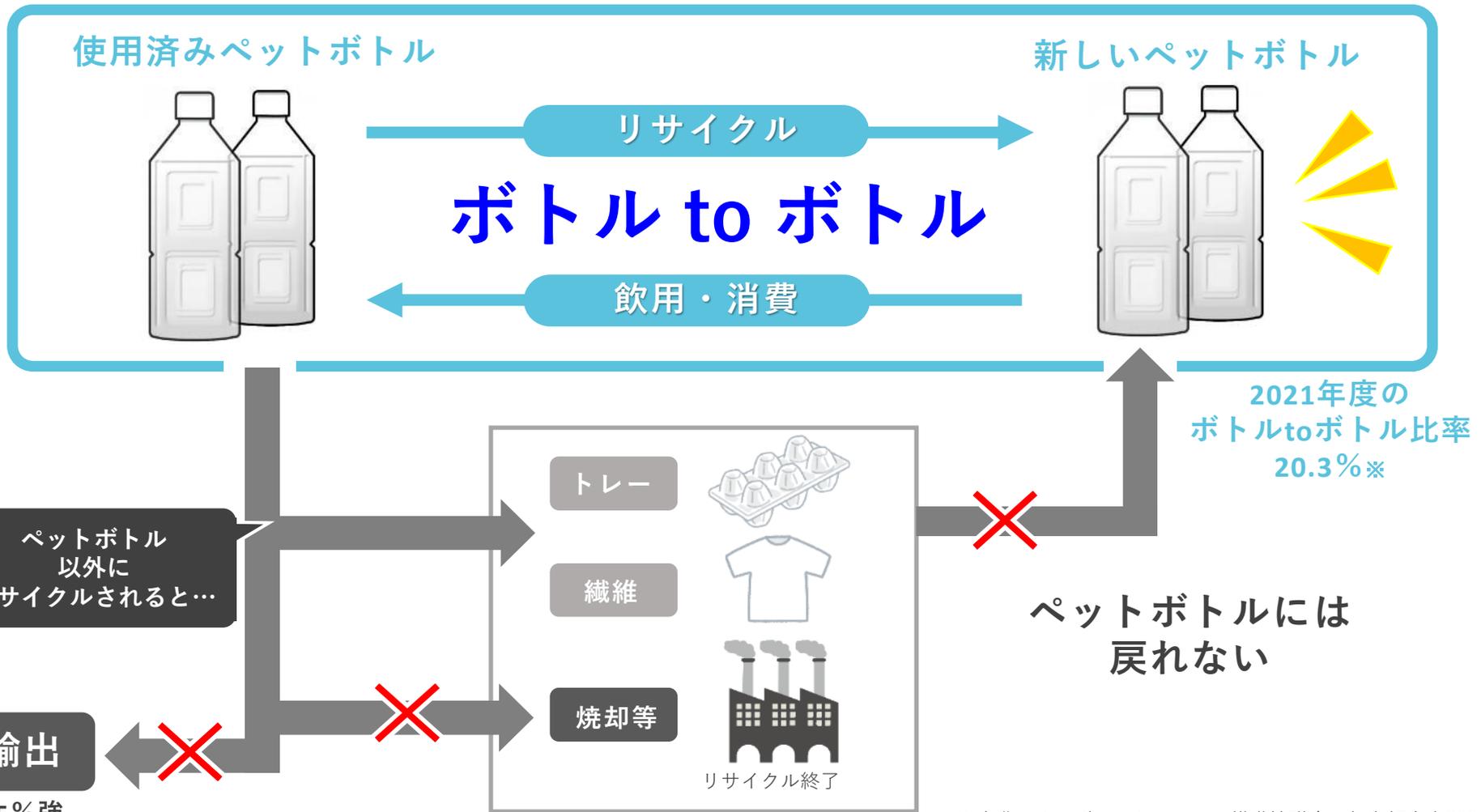
20面

(C) The Shin Nihonkai Shimbun Co., Ltd.

2024.3.9 日本海新聞掲載

「ボトル to ボトル」 水平リサイクルの意義

新たな化石由来原料を使わずに、
何度も「ペットボトル」として循環できる



事業系ルートの使用済ペットボトルの品質のバラつき

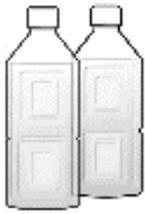
回収ルート

資源としての品質

生活者



約5割



使用済
ペット
ボトル

ご家庭(市町村)ルート




分別済で
高品質

事業系ルート
(ご家庭外)

スーパ ー	コン ビニ	自販 機	オフィ ス	教育機 関	ほか
----------	----------	---------	----------	----------	----





異物混入・
分別不十分
など

ペットボトルは何度も循環できる「資源」

資源の水平循環で、サステナブルな社会の実現を可能に

新しいペットボトルにリサイクルされるまで

SUNTORY



■協栄産業 ■遠東石塚グリーンペット ■豊通ペットリサイクルシステムズ





- ◆ 「ボトル to ボトル」水平リサイクルをすることで、新たな化石由来原料を使わずに**何度もペットボトルとして循環可能**
- ◆ 使用済みペットボトルからプリフォーム製造までの工程において新たな化石由来原料を使用する場合と比較して**約60%のCO2排出量を削減**

地域住民の皆様に向けた啓発活動

教育啓発プログラムの実施



サントリー出張授業
「ペットボトルのリサイクルについて考えよう」

啓発ポスターの活用





「ボトル」to「ボトル」 水平リサイクル 開始!

北栄町では、サントリーグループと協定を締結し、令和6年4月1日より「ボトルtoボトル」を開始します。水平リサイクルすることで、CO2排出量約60%削減^{※1}につながります。資源が循環するサステナブルな社会の実現に向けて、ペットボトルの分別にご協力ください。

※1 使用済みペットボトルからブリフォーム製造までの工程において新たな化石由来原料を使用する場合と比較した場合

ペットボトルの分別方法



資源回収のために、ペットボトル分別にご協力お願いします

「ボトルtoボトル」水平リサイクルの仕組み

「ボトルtoボトル」とは、飲用後のペットボトルをきれいな原料にして、新しいペットボトルにリサイクルすることです。きれいに分別することで、何度も「ペットボトル」として循環できます。サントリーでは2030年までに、すべてのペットボトルにリサイクル素材あるいは植物由来素材のみを使用し、化石由来原料の新規使用をゼロにすることで、100%サステナブル化を目指します。

協力: サントリー食品インターナショナル(株)
サントリーではリサイクル素材でできたペットボトルを一部の商品に使用しています。



Bottle to Bottle